

内分泌・代謝Ⅱ

【Endocrinology and Metabolism Ⅱ】

担当責任者 教授（第1内科学） 田中 良哉

ねらい

下垂体・甲状腺・副腎等のホルモン異常による内分泌疾患と糖尿病を中心とした代謝性疾患の病因、病態生理を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法及び治療法について習得することを目標とする。

さらに、症例からその病態と内分泌異常の関連、疾患の鑑別、診断法、治療法について学び、かつ具体的な診断のプロセスについて検討して内分泌代謝疾患の臨床を習得することを目標とする。また、モデル・コア・カリキュラムのみならず医師国家試験の出題基準にも照合した教育プログラムを立てている。

学修目標

1. ホルモンの概念、生理作用、作用機構、その調節を理解し、ホルモン分泌、作用異常と病態との関連性について学ぶ。(Ⅱ-1, Ⅱ-2)
2. 内分泌疾患でない病態へのホルモンの関わりあいについて理解する。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
3. 症例から病態、疾患の鑑別、診断、治療についての思考方法について学ぶ。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. 事前に教科書や参考書を読んでおくこと。
2. 配布された講義資料を用いて復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 本試験を成績評価とし、60点以上を合格とする。
2. 100点満点で60点以上が合格。出席状況も加味し、総合的に判断する。

○教科書

1. 矢崎義雄 総編集：内科学 第11版 朝倉書店
2. 日本糖尿病学会編：糖尿病ガイド 2018～2019 文光堂

○参考書

1. 寺本民生、片山茂裕 編集：内分泌・代謝学 メディカルレビュー社
2. 成瀬光栄、高橋 裕、田上哲也、竹内靖博、田辺晶代 編集：内分泌代謝疾患Clinical Question100 診断と治療社
3. 荒木栄一、綿田裕孝 編集：最新インスリン療法改訂第2版 中山書店

4年次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.4.21	水	I	副腎皮質・ステロイドホルモン(X-3-A)	D	12	(1)~(4)	上村 芙美
4.27	火	V	副腎皮質(X-3-B, C)	"	"	"	"
5.11	"	"	副腎髄質・MEN(X-3-H, J, 4-C)	"	"	"	"
5.19	水	I	糖尿病:病因、病態生理(VI-10-G)	"	"	"	園田 里美
5.26	"	"	糖尿病:慢性合併症(VI-10-G)	"	"	"	"
6.9	"	II	糖尿病:治療(X-5-A)	"	"	"	"
6.16	"	I	糖尿病性昏睡(X-5-A~C, E)	"	"	"	"
6.30	"	II	糖尿病性昏睡の実際(X-5-B, C)	"	"	"	"
7.2	金	II	骨粗鬆症(X-6-AA)	"	"	"	田中 健一
7.7	水	IV	糖尿病:UP DATE(X-5-A)	"	"	"	西田 啓子
7.13	火	V	低血糖(X-5-E)	"	"	"	上村 芙美
7.14	水	IV	性腺・性分化異常(X-3-F, G, 4-A, B)	"	"	"	柳瀬 敏彦(学外)
7.27	火	V	メタボリックシンドローム・肥満(VI-10-A)	"	"	"	上村 芙美
10.5	"	"	痛風・その他代謝疾患(X-6)	"	"	"	"
10.12	"	"	甲状腺中毒症(X-2-A)	"	"	"	黒住 旭
10.22	金	"	甲状腺がん(X-2-H~K)	"	"	"	"
10.26	火	V	グルココルチコイド過剰症(X-3-A)	"	"	"	上村 芙美
11.10	水	I	ナトリウム代謝異常(X-3-D, E)	"	"	"	岡田 洋右
11.17	"	II	カリウム代謝異常(X-3-B, C)	"	"	"	園田 里美
11.24	"	IV	カルシウム代謝異常(X-2-L)	"	"	"	田中 健一
12.3	金	II	下垂体疾患(X-1-E~I)	"	"	"	"